

平成 30 年度

飯豊町の『わかりやすい予算書』



目次	内容
1	町長あいさつ・平成30年度の当初予算額
2	町制施行60周年
3～4	予算の概要
5～11	主な事業の概要
12	新規事業、継続・拡充事業
13	予算額の推移・財政健全化指標
14	町債残高・基金残高

“飯豊町の予算”
の使い道などを
わかりやすく
ご説明します。



“**田園の息吹が暮らしを豊かにするまち**”
の実現に向けて

町民の皆さまには、日頃から地域活性化にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

本町は、町の将来像である「田園の息吹が暮らしを豊かにするまち」の実現に向け、若者の定住移住対策と雇用の創出、地方創生推進のため、着実に体制整備を進めております。

持続可能な財政運営を確保するため「最少の経費で最大の効果を挙げる」という行財政運営の基本を踏襲しつつ、地方が直面する課題に立ち向かい、道を切り開いていかなければなりません。

そのため、「第4次飯豊町総合計画」、「飯豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現を目指して、今年度も積極的な予算編成に努めたところであります。

さらに今年度は、「町制施行60周年」を迎えます。今こそ「住民主体のまちづくり」、「手づくりのまちいいで」の原点に立ち返らなければなりません。そのためには、情勢変化を敏感に捉え、迅速かつ適切な対策を講じて、町民の皆さまの期待に応える公正な行政運営に努めてまいります。

健全財政を堅持しつつ、町民の皆さまが主役となるまちづくりに一層精進してまいりますので、引き続きご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年4月

飯豊町長 後藤 幸平



飯豊町の平成30年度の当初予算額

一般会計、特別会計、企業会計の全ての会計を合わせると、**104億2,019万円**になります。（※各会計とも1万円未満の端数を調整しています。）

一般会計	69億5,000万円（前年度比1.2%増）
特別会計	31億8,651万円（前年度比2.4%減）
企業会計（水道事業）	2億8,368万円（前年度比1.1%増）

平成30年度の予算額について、一般会計は、新産業集積事業を継続して実施することなどから、前年度比1.2%増となりました。

特別会計には、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、下水道事業特別会計などがあります。特定の収入（保険料や使用料など）によって賄われている事業について、一般会計と分けて経理しています。

飯豊町は、平成30年度に
「町制施行 **60** 周年」を迎えます。

飯豊町は、緑豊かな自然環境と歴史や文化に育まれながら、町民の皆さまの協力によりまちづくりを進めてきました。

この節目を迎えるにあたり、これまで積み重ねてきた先人たちの歴史を振り返るとともに、飯豊町の未来を次世代につなげていくため、一年間を通じて、さまざまな記念事業を実施します。町民の皆さまとともに「いいまち」を盛り上げていきましょう！

60周年記念事業

事業内容	概要
町制施行60周年記念式典	記念式典にて記念講演などを予定しています。
飯豊町表彰条例に基づく表彰	町の発展に寄与し、町政に功績のある方を表彰します。
広報いいで縮刷版（第4巻）の発行	平成20年4月～平成30年3月発行分の「広報いいで」の縮刷版を発行します。
景観配慮のまちづくり	景観条例の制定、景観・地域資源カルタ作成、フォトコンテスト、田園散居集落をなす屋敷林に囲まれた農家住宅の継承など景観に配慮したまちづくり事業を実施します。
飯豊町農村計画研究所の再興	まちづくりの礎と歴史、そして将来に引き継ぐまちづくりの理念を常に感じることができるところを創り上げるために、「飯豊町農村計画研究所」を再興します。
iideUoh! バースデーケーキProject	「iideUoh!」による「アイスクーキ」を製作します。町内店舗で販売するほか、子どもたちの制作体験、秋の収穫祭での振る舞いを予定しています。
子ども議会	町内小中学校の児童・生徒11名が議員となり、まちづくりについて議論する「子ども議会」を企画しています。

例年実施しているイベントに合わせた記念事業

- ◎全国白川ダム湖畔マラソン大会（ゲストランナーをお呼びします）
- ◎めさみの里まつり（獅子の競演、山村留学生の里帰りツアーなどを企画しています）
- ◎いいで黒べこまつり ◎いいで秋の収穫祭 ◎めさみの里音楽祭 ◎芸能発表会 など

※上記事業内容が変更になる場合があります。

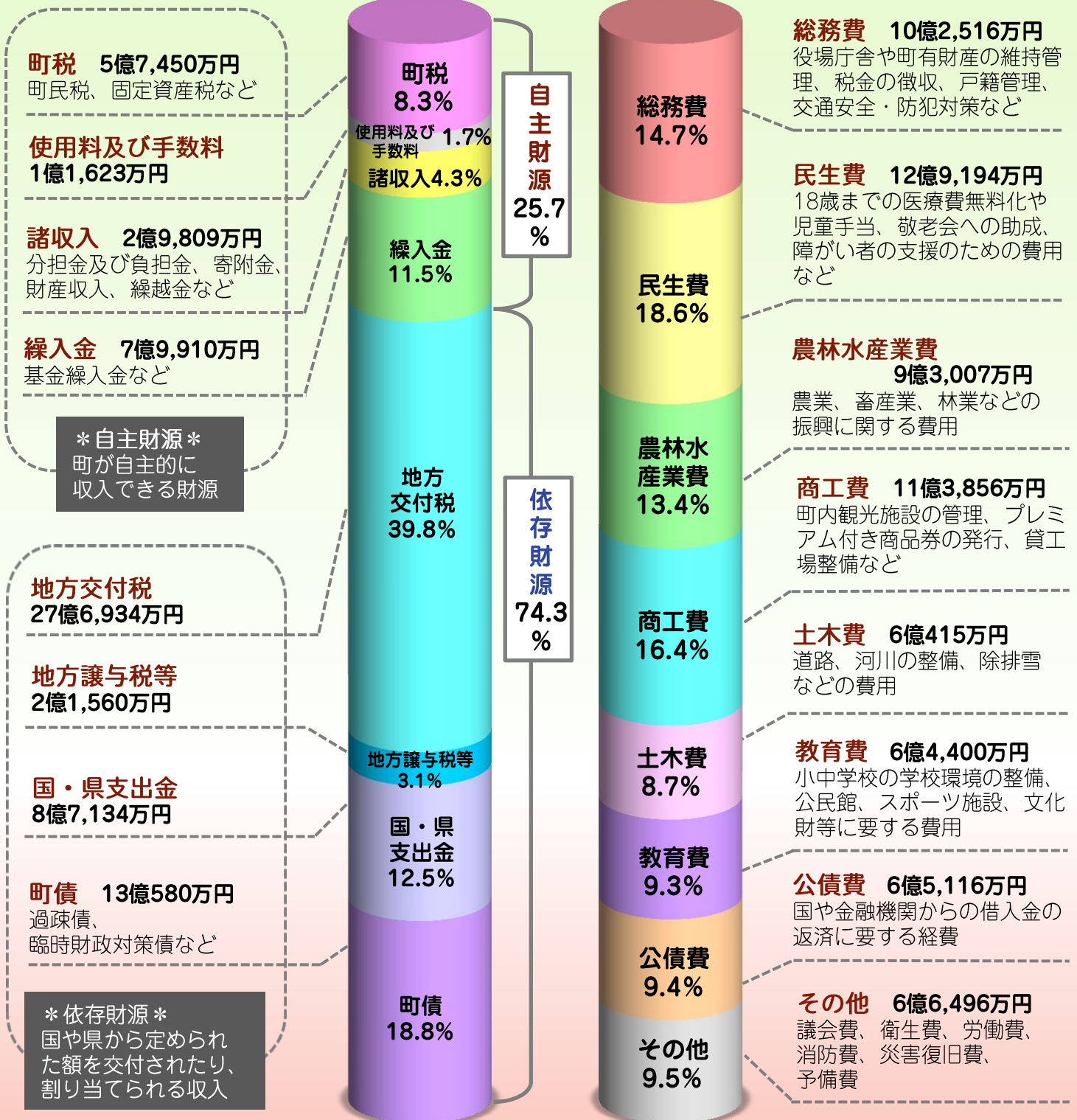
開催時期や事業内容について、近くなりましたら、広報やチラシにて皆さまへご案内します。多くのご参加をお待ちしております！

一般会計の歳入と歳出の内訳

一般会計とは、福祉や防災、道路、教育など役場の基本的な仕事に関する収入と支出を管理する会計です。

歳入

歳出（目的別）
















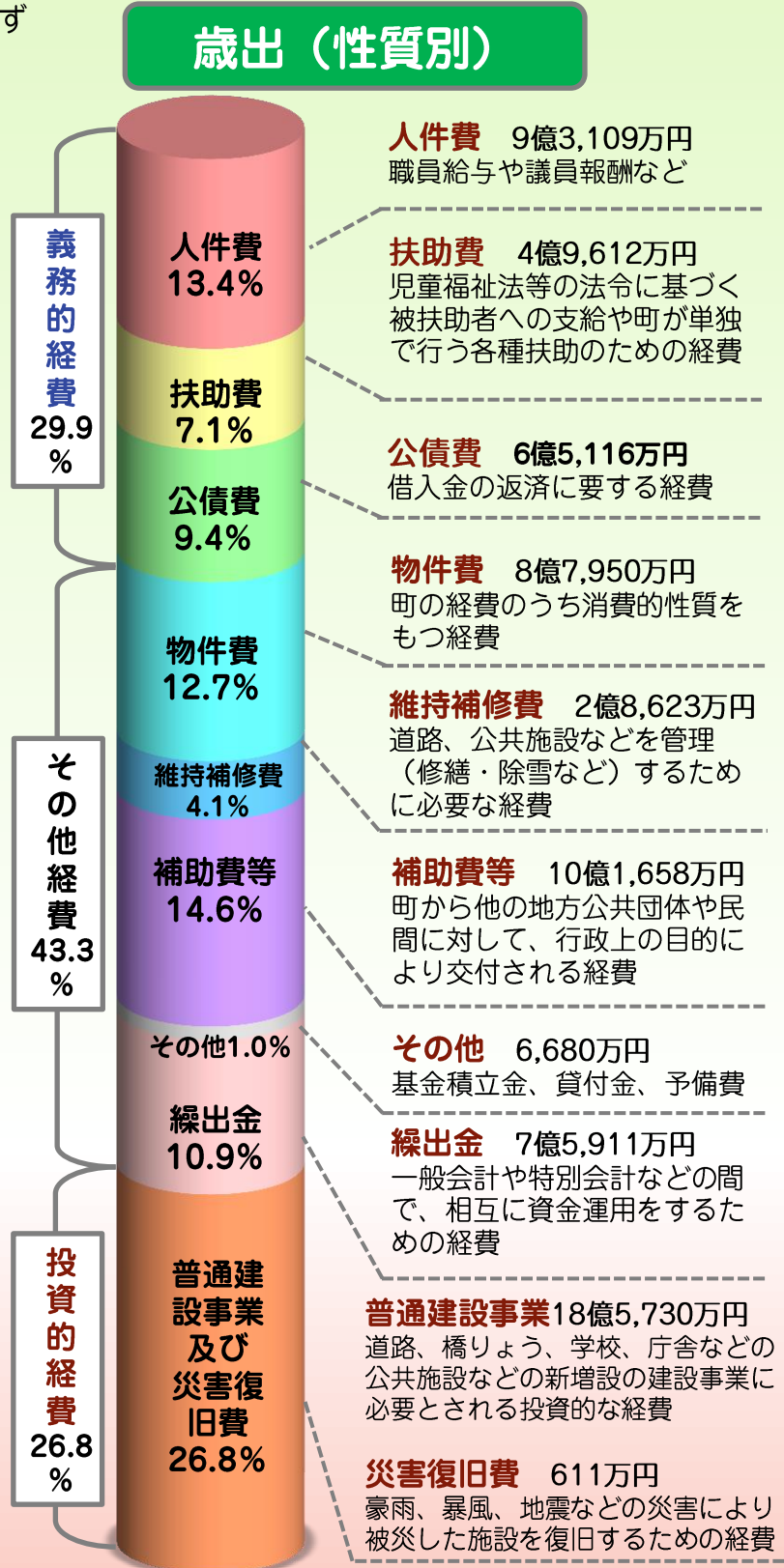
及び町民一人あたりの予算額

一般会計の当初予算額69億5,000万円を、平成30年3月1日現在の人口7,280人で割ると、町民一人あたりの予算額は954,670円となります。

構成比は民生費の割合が高く18.6%であり、次いで商工費が16.4%となっています。

性質別予算では、人件費、公債費などの必ず支出しなければならない義務的経費の割合は29.9%となっています。

目的別経費	町民一人あたりの予算額 (構成比)
 議会費	10,019円 (1.0%)
 総務費	140,819円 (14.7%)
 民生費	177,464円 (18.6%)
 衛生費	44,836円 (4.7%)
 労働費	2,172円 (0.2%)
 農林水産業費	127,755円 (13.4%)
 商工費	156,396円 (16.4%)
 土木費	82,986円 (8.7%)
 消防費	30,672円 (3.2%)
 教育費	88,462円 (9.3%)
 災害復旧費	2,957円 (0.3%)
 公債費	89,445円 (9.4%)
 予備費	687円 (0.1%)
歳出合計	954,670円 (100.0%)



主な事業の概要（町総合計画の7つの柱）

1. にぎわいあふれるまちづくり

人口減少対策

交流・関係人口の増加と婚活支援、空き家対策を兼ねて、多様な方々との関わりを生み出しながら、空き家をリノベーションします。

将来、空き家を中心としたエリアが、交流と憩いの場「**いいで村**（仮称）」となるように事業を展開します。
【担当：特別政策室】



「古民家」リノベーション（※イメージ画像）

結婚支援

平成29年度に設立した「**いいで未来サポート隊**」と共に「婚活」支援に積極的に取り組みます。

結婚への意識を醸成するための「**自分力UPプログラム**」による結婚を希望する独身者への支援と共に、結婚サポーターの育成や保護者向けの研修会を開催し、結婚につながる環境を計画的に整えます。
【担当：特別政策室】



にぎわい再現プロジェクト

地域づくりの担い手となる若者世代の活力により、飯豊町に「**にぎわい**」を取り戻す事業を継続展開していきます。
【担当：特別政策室】



都市部での移住相談会開催と移住フェアへの出店を積極的に行い、移住を促進します。

移住に必要な最新情報をわかりやすく伝えるために、「**移住ガイドブック**」のリニューアルと若者世代向けの「**飯豊町PR動画**」を作成します。

「**飯豊町帰郷希望女子応援プロジェクト**」を実施し、都市部の女性の帰郷と移住を促進します。
【担当：特別政策室】

住宅取得への支援をはじめ、結婚、出産、入学など人生の節目にお祝いを贈り、「ふるさといいで」への移住・定住を奨励します。
【担当：総合政策室】

移住定住促進 いいですね定住推進



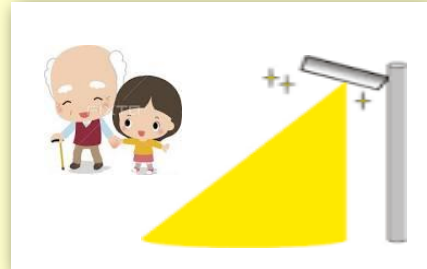
飯豊町帰郷希望女子応援プロジェクトの様子

2. 自然と共生するまちづくり

防犯灯のLED化

平成29年度に引き続き、環境への配慮、設備の長寿命化及び電気料の低減を図るため、町で管理している道路防犯灯のLED化を進めます。

【担当：生活環境室】



やまがた緑環境税を活用し、皆さまのご協力をいただきながら、みどり豊かな森林環境づくりをめざします。

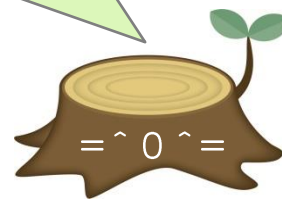
いい豊かな森づくり活動や森林自然環境学習、森林資源を活用した公園などの整備を行います。

また、私たちの暮らしを支える森林の働きを守っていくため、引き続き里山林の整備を進めていきます。

【担当：農林整備室】

緑のまちづくり

平成30年6月に、「やまがた森の感謝祭」が、飯豊町で開催され、県内から大勢の皆さまが参加されます。緑豊かな自然に感謝し、「県民みんなで支える森づくり」を推進します。



農業集落排水事業

生活排水対策の一環として、現在手ノ子地区農業集落排水事業を進めています。

平成29年度末に農業集落排水処理場が完成し、平成30年9月から一部の地域で供用が開始されます。

手ノ子地区の早期完了に向け取り組んでいます。

【担当：上下水道室】

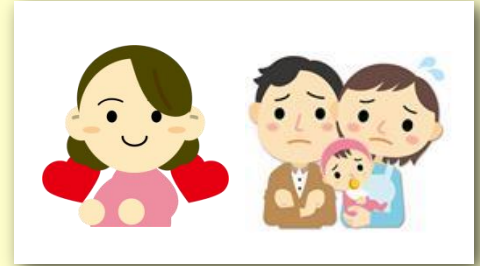


主な事業の概要（町総合計画の7つの柱）

3. 生きがいと笑顔のまちづくり

子育て世代包括支援事業

妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・育児に関する相談に応じ、その方に応じた「支援プラン」を作り、関係する機関と連携しながら、妊産婦及び乳幼児の健康保持増進に係る包括的な支援を行います。妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を提供する体制を築きます。
【担当：健康医療室】



訪問リハビリ



飯豊町では、平成30年度に「訪問リハビリテーション」を開設します。

訪問リハビリとは、介護老人保健施設の理学療法士や作業療法士が、計画的に医学管理を行っている医師の指示にもとづいて、通院が可能な利用者の自宅を訪問して、心身機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために、必要なリハビリテーションを行うものです。

【担当：美の里】

健康・元気いいで町ポイント事業

健康づくりへの動機づけや運動習慣の定着化を目的として、町が実施する各種の健康診査や健康づくりの事業などに参加した方にポイントがもらえる「健康・元気いいで町ポイント事業」を継続して実施します。

たまったポイントに応じて、町が準備する特典と交換することができます。

【担当：健康医療室】



介護予防・日常生活支援総合事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援の一体的なサービスを充実していきます。高齢者が抱える生活課題に対しては地域と連携し、具体的な支え合いの体制づくりを進めていきます。

高齢者の介護予防については、運動・口腔・栄養についてのケア事業を充実していくとともに、地域での自主的なサロン活動の拡充を図り、つながりと生きがいづくりを推進していきます。
【担当：福祉室】



4. 豊かな感性を育むまちづくり

外国語教育指導助手 2名体制

平成30年度より小学校での英語の授業時数が段階的に増加することに伴い、外国語教育指導助手の2名体制を継続します。

授業だけでなく身近なコミュニケーションを通して学び、小学校からの英語力の向上を図ります。【担当：学校教育振興室】



「いいで希望塾」の継続



町営学習教室「いいで希望塾」の様子

中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」を継続実施し、学習意欲の向上や学習習慣の定着を図っていきます。

また、春休み期間中には、小学生を対象にした町営学習教室も開催し、小学校の復習と中学校の予習など、入学に向けた準備を進めます。【担当：学校教育振興室】

生涯学習活動 （地域と共にすすめる公民館活動）

子どもからお年寄りまで生涯を通じて楽しめる生きがいづくりの場としても、地区公民館は重要な役割を担っています。地域の方々の意見を活かし、魅力ある生涯学習活動を進めていきます。【担当：生涯学習振興室】



「音楽」からのまちづくり



「めざみの里音楽祭」の様子

「音楽からのまちづくり」を推進するため、「めざみの里音楽祭」や「めざみの里カンタート」などの音楽関係事業を展開し、子どもたちや町民の方々が気軽に「音楽」にかかわることができる機会を創出するとともに、日頃の活動成果を町内外に発信していきます。【担当：まちづくり室】

主な事業の概要（町総合計画の7つの柱）

5. こだわりの産業づくり

新産業集積事業 （企業向け貸工場の建設・屋台村オープン）

東山工業団地を拡張し、貸し工場方式による研究実証施設や製造工場の誘致を実現していきます。

平成30年4月、萩生地内に「屋台村いいでら」がオープンしました。

県内外から来町されるお客さまと地元企業や地域住民との交流を通じて、地域のにぎわい創出や若者の定住などを図ります。

【担当：産業連携室】



「屋台村いいでら」4月オープン

飯豊・農の未来事業



第2期「飯豊・農の未来塾」開講式

農業経営の安定化及び所得向上のため、環境に配慮した農業と飯豊ならではの循環型農業を推進する「飯豊・農の未来事業」を継続して展開します。

地域農業の担い手育成・支援や新規就農者の確保など、第2期「飯豊・農の未来塾」の開講や6次産業化の推進により、ステップアップした農業経営や栽培技術向上を目指します。【担当：農業振興室】

山形県畜産経営競争力強化支援事業において、意欲ある担い手の規模拡大や生産性向上を図るため、山形県と連携して協調補助を行い、これまでの補助率を嵩上げし経営コストなどを削減していきます。



また、米沢牛の肥育牛増頭や地域一貫を推進する

「畜産生産拠点整備」に取り組み、畜産振興を図ります。

【担当：農業振興室】

畜産振興事業



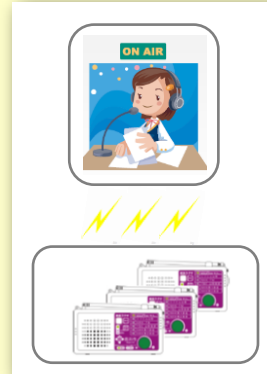
6. 安全・快適なまちづくり

コミュニティFMラジオ放送エリア整備 防災ラジオの全戸配布

長井市のタスヒルから放送されている「コミュニティFMおらんだラジオ」の町内の受信エリアを拡大するとともに、「防災ラジオ」を全戸配布して、災害時に、災害情報や避難の誘導・勧告、救援情報などを、迅速に伝達できるように整備します。

なお、平常時は、地域の話題や行政情報など地域に密着した情報を提供します。

【担当：情報防災室】



老朽危険空き家対策



町民の安全で安心な居住環境と町の美しい景観を守るため、町内にある危険な老朽空き家の解体撤去工事に対して、町が補助金を交付するなどの取り組みを進めます。

【担当：生活環境室】

道路交通の維持

冬期間の道路交通を維持し、安全・安心な生活を確保するため、道路の除雪や消雪を行います。引き続き、消雪配管の更新工事を進めます。

【担当：建設室】



町民の生命と財産を守る消防・防災対策については、火災、震災、水害、土砂災害、雪害など各種災害を想定した地域防災計画の適切な運用を図っていきます。

消防団員の安全を確保すべく装備の充実を図り、新たな団員の加入促進に努め災害対応力の充実強化を図るとともに、消防水利の確保に努めます。

【担当：情報防災室】

消防・防災対策

消防団員募集中！



7. 持続可能なまちづくり

第4次飯豊町総合計画に基づく地区の主体的な活動に対し、「**地域づくり推進事業費補助金**」として支援します。

また、「**地域づくり推進事業+（プラス）**」により、地域に有用な情報を提供し、多様な主体による自立したまちづくり活動の取り組みを推進します。

【担当：総合政策室】

地域づくり推進のための「各地区への補助金」



地域づくり推進のための「集落支援員」の配置



地区公民館に「**まちづくりセンター**」としての機能を加え「**集落支援員**」を配置し、地域の巡回活動や点検活動を行いながら、それぞれの地域で抱える課題の解決に向けて、多くの方々が積極的に地域づくりに参画できるような話し合いの場の創出と、事業展開を目指し、「**住民主体のまちづくり**」を構築していきます。

【担当：社会教育課】

空き家バンク

空き家を売りたい・貸したい「**空き家所有者**」と、空き家を買いたい・借りたい「**利用希望者**」の橋渡し（紹介）を行う「**空き家バンク事業**」を行っています。

また、空き家の利活用と危険空き家の解体促進、空き家の諸問題解決に向けて、専門家による「**空き家無料相談会**」を開催します。

【担当：特別政策室】



広報いいでの発行 / 行政情報のメール配信

広報いいでは、充実の地域情報をよりタイムリーに発信します。町民の皆さんのまちづくりへの関心を高め、飯豊町に住んでいることへの自信、誇り、夢を育む「**まちの情報紙**」を目指します。

行政情報のメール配信は、引き続き迅速かつ正確な情報提供に努め、ニーズや利便性を考慮し、配信情報のさらなる拡充を検討します。町ホームページに現在の行政情報メールの種類と登録方法などを掲載しています。

【担当：情報防災室】

 **新規** に取り組む事業

 **継続・拡充** して取り組む事業

総務企画課

- * 萩生工業団地関連事業
- * 農村計画研究所整備
- * 地域協力活動を行う
‘地域おこし協力隊’の配置
- * 景観条例・景観計画策定
- * 移住定住者向けガイドブック作成
- * 空き家リノベーション
- * 防災ラジオ全戸配布



- * 移住定住促進
- * 結婚支援
- * 椿住宅団地整備
- * にぎわい再現
- * コミュニティFMラジオ
エリア整備（小屋地区）

社会教育課

- * 地域振興のための‘集落支援員’を配置



- * 図書室開館時間の延長（※4～9月）
- * 地域学校協働活動推進員の増員
（1名から2名体制へ）

農林振興課

- * 土地利用型産地パワーアップ事業
- * 畜産生産拠点整備（測量）
- * やまがた森の感謝祭（飯豊町で開催）



- * 農産物6次産業化推進
- * 防災減災事業（中津川地区）
- * 新規就農者への支援
- * 農業用機械導入への補助
- * 荒廃農地利活用への補助



地域整備課

- * 添川住宅団地関連道路改良



- * 住宅リフォーム・耐震改修への補助
- * 道路改良・舗装補修
- * 消雪のための配管入替・井戸改修など
- * 手ノ子地区農集排管路等整備
- * 町設置型浄化槽工事



住民税務課

- * 明るいやまがた夏の
安全県民運動（飯豊町で開催）



- * 18歳以下医療費無料化
- * 運転免許証返納者へ
ほほえみカー回数券贈呈
- * 防犯灯LED化整備
- * 空き家解体への補助
- * 緑ヶ丘斎場（長井市）大規模改修負担金



教育総務課



- * 飯豊中学校大規模改修（実施設計）
- * つばき保育園調理業務委託
- * わくわくこども園（幼児部）トイレ増設
- * 家庭的保育による待機児童解消
- * スクールバス1台更新



- * 外国語指導助手2名体制
- * 学力体力向上のための専門家を招へい
- * 町営学習教室の実施（小学校高学年も）

健康福祉課

- * 妊娠子育てを包括的に支援する
‘母子保健コーディネーター’を配置
- * 新生児聴覚検査の助成
- * 福祉事業所ででん増築工事



- * 検診対象年齢引き下げ（20歳～）
- * 乳がん検診対象年齢引き下げ（35歳～）
- * 介護職員人材育成
- * 福祉型小さな拠点づくり



商工観光課

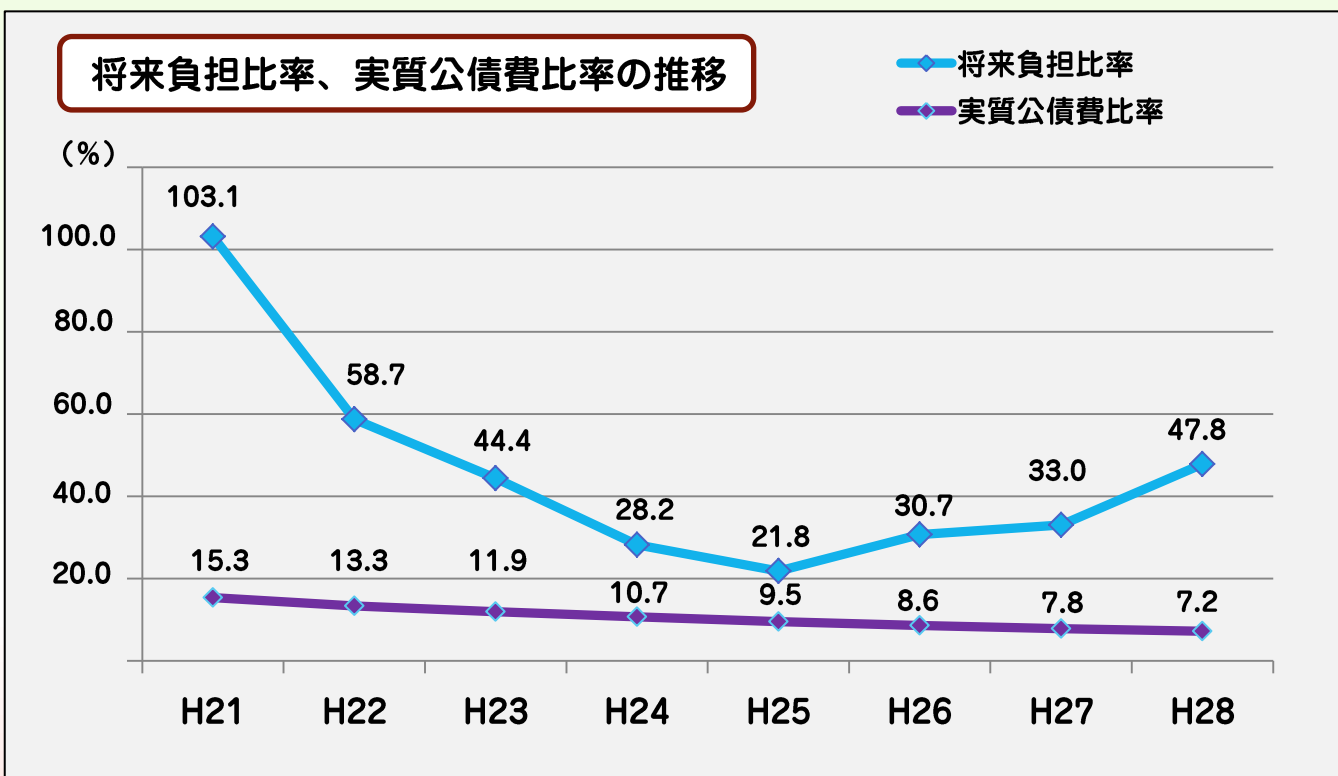
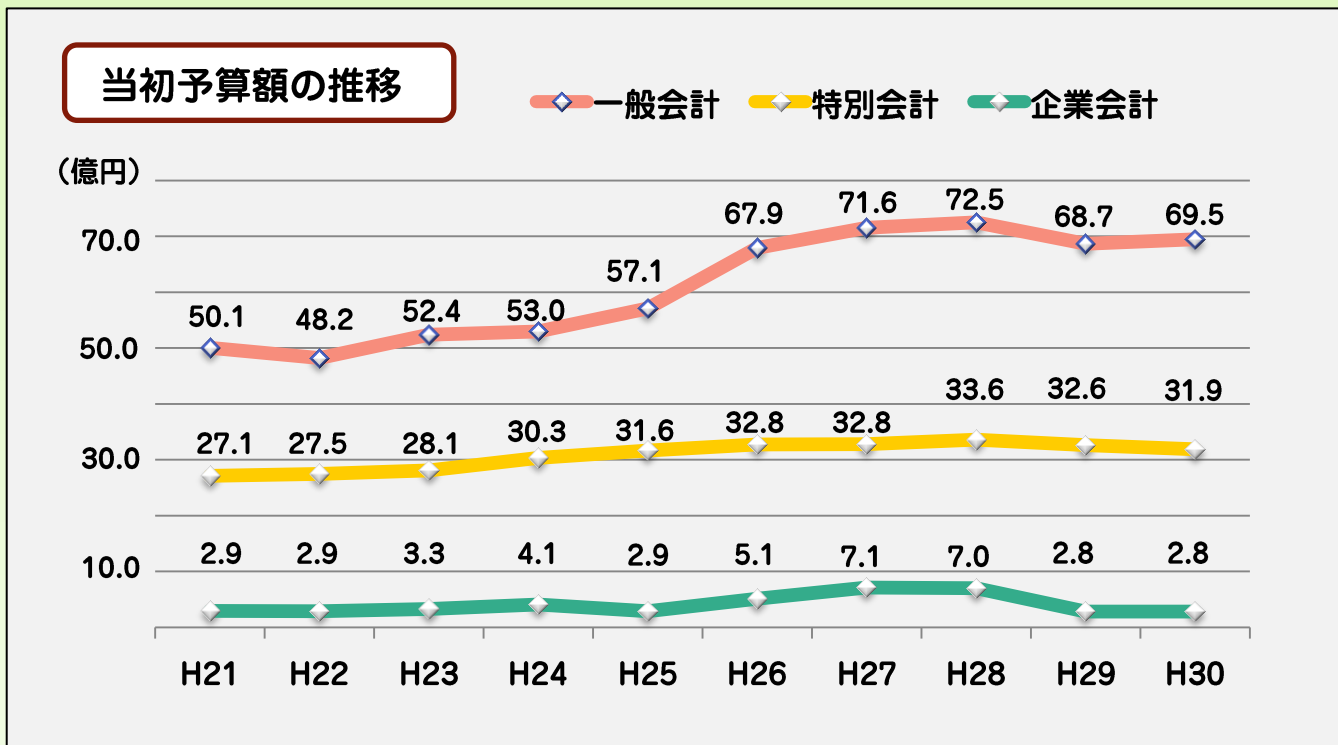


- * 広域観光と地域連携
DMO構築への参画

- * 高円寺チャレンジショップの運営
- * 中小企業の設備投資等への補助
- * 商店経営・機能強化への支援
- * 企業向け貸工場の建設
- * 屋台村を中心としたにぎわい創出
- * 町観光協会などの組織強化支援



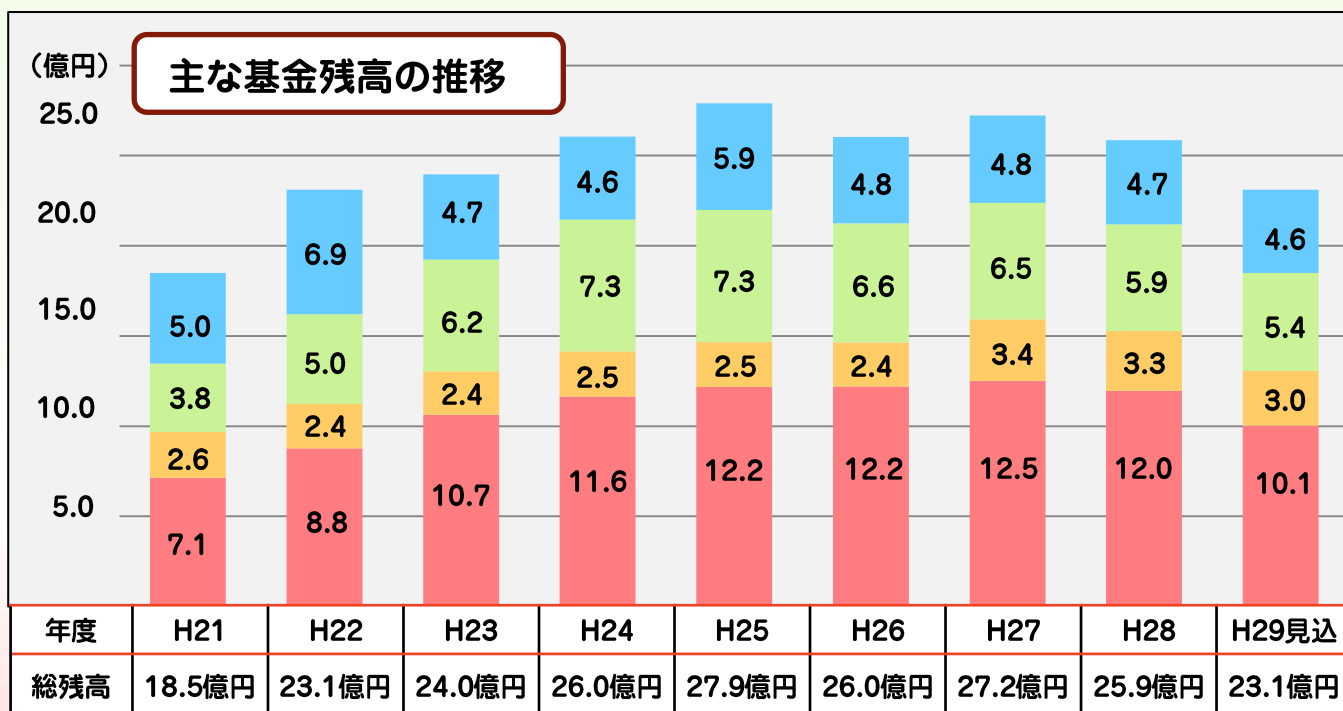
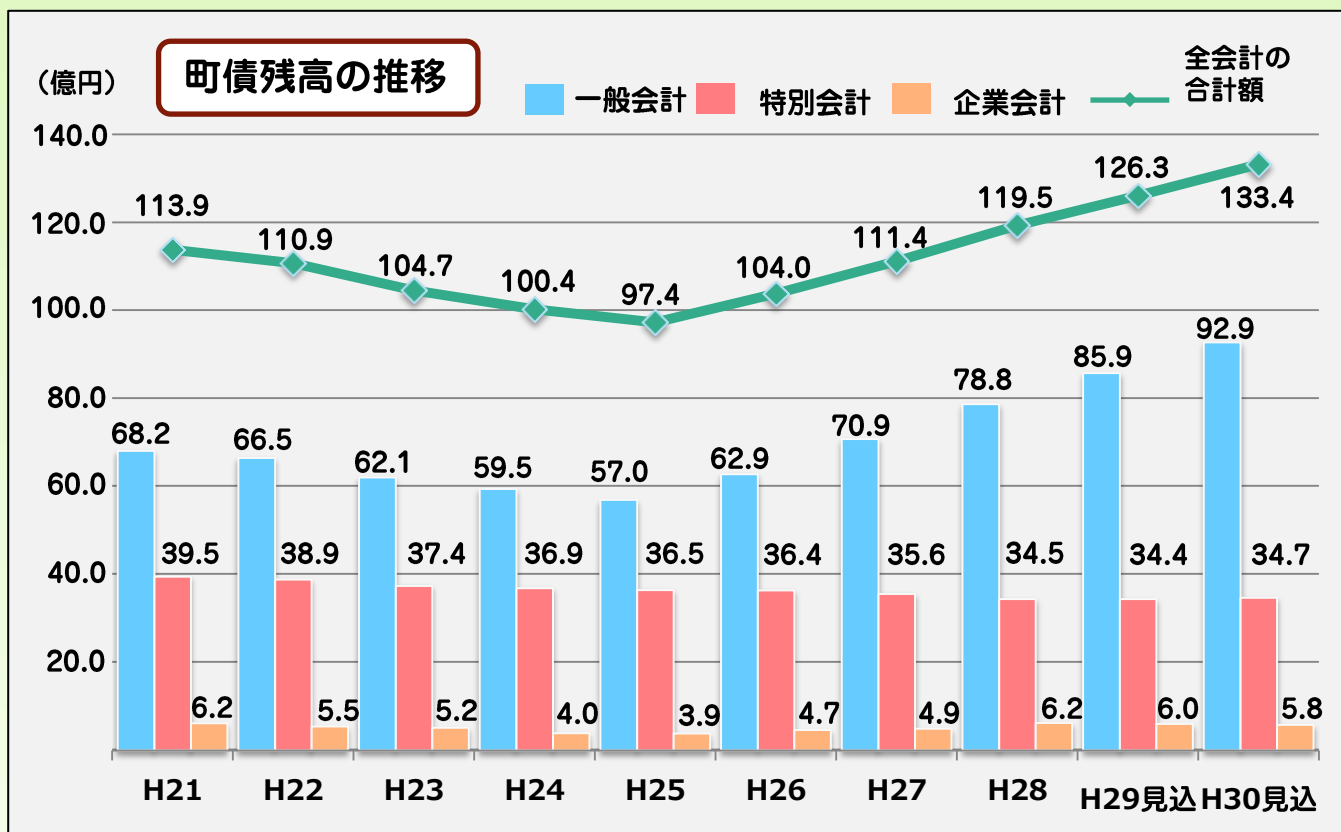
予算額の推移・財政健全化指標



※ 1 「当初予算額の推移」の特別会計については、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、訪問看護特別会計、介護老人保健施設特別会計、下水道事業特別会計（農業集落排水事業、生活排水個別処理事業）物品調達特別会計及び各財産区特別会計の合計額を計上しています。

※ 2 「将来負担比率」とは、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。

※ 3 「実質公債費比率」とは、一般会計等が負担する借入金の返済分が標準財政規模でどの程度あるかを示した比率です。



■ 財政調整基金
 ■ 減債基金
 ■ 公共施設整備基金
 ■ その他基金

※ 基金については、特定の目的に使用するためや、税収減、災害の発生などの予期しない経費の支出に対応するために、計画的に積み立てを行っています。
 ※ ここに計上した基金は、財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金、その他の基金（地域振興基金、地域福祉振興基金、スポーツ振興基金、交通遺児等支援基金、いいでめざみの里応援寄附基金）となります。

- 発行年月 平成30年4月
- お問い合わせ先 飯豊町役場 総務企画課 総合政策室
〒999-0696
山形県西置賜郡飯豊町大字椿2888番地
電話 0238-87-0521（直通）
- ご意見・ご感想をお寄せください 電子メール
iide-info@town.iide.yamagata.jp
- もっと詳しく知りたい方は

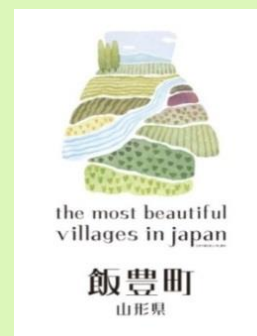
こちらで紹介した内容以外にも飯豊町では多くの事業を実施しています。
この「わかりやすい予算書」のほか、広報紙やホームページなどで必要な情報を随時お知らせいたします。

また、記載の事業の詳しい内容については、それぞれの担当部署までお問い合わせください。

飯豊町は、平成29年度 「バイオマス産業都市」 に認定されました。

バイオマス産業都市とは、原料生産から収集・運搬、製造・利用まで、経済性が確保された一貫システムを構築し、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした、環境にやさしく災害に強いまち・むらづくりを目指す地域です。

地域資源を活用したこれまでの取組を更に発展させていきます。



飯豊町は、
『日本で最も美しい村』連合
に加盟しています。